

部長会議開催結果 概要

●日時	令和5年2月13日(月) 午後1時30分から午後2時25分まで			
●場所	3A会議室			
●出席者	■は出席(代理出席は○)			
	■ 市長	■ 内田副市長	■ 高橋副市長	■ 教育長
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 暮らし安心部長	■ 文化スポーツ部長
	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長	■ はだの魅力づくり担当部長
	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長	■ 教育部長
	■ 消防長			
	進行：副市長 事務局：総合政策課長、課長代理、担当 陪席：秘書課長			
●会議	1 市長あいさつ 2 報告事項 (1) 令和5年3月秦野市議会第1回定例会月会議提出議案等について [総合政策課、財政課] (2) 救急医療支援システム導入による救急活動の効率化(実証実験)について [消防管理課] (3) 運転免許の申請取消又は行政処分により運転免許を失った高齢者の相談支援に関する協定の締結について [地域安全課、高齢介護課] (4) 秦野市パートナーシップ宣誓制度の導入について [市民相談人権課] (5) 秦野市景観形成基本計画等の改定案について [まちづくり計画課、開発指導課] (6) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課] 3 その他			
●会議概要	1 市長あいさつ ・3月議会提出議案等について、本日、正副議長に申し入れ、15日に施政方針とともに発送する。新年度一般会計予算の歳入歳出の総額は、前年度に比べて5.1パーセント増の555億7,000万円で、過去最大規模となる。 ・新東名高速道路秦野区間の開通は、「新時代の幕開け」となった。令和9年度の全線開通や秦野丹沢サービスエリア開設を最大活用して新時代の先の未来を切り開いていくという決意を込め、1年にかける想いを表す漢字に「開(かい)」の一文字を掲げた。「表丹沢の魅力づくり」と「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」を一体的に進め、全国屈指の森林観光都市の具現化を進めていきたい。 ・感染症の長期化、ウクライナ危機、物価高騰などの困難に直面している今、感染症対策や物価高騰対策は最優先で取り組むべき課題である。アフターコロナを見据え、市民の生命・暮らしと地域経済を守る施策を適時適切に講じていきたい。 ・デジタル化やカーボンニュートラルなどにも積極果敢に取り組むとともに、妊娠・出産から子どもたちが社会にはばたくまで、施策の充実・強化を図り、次代を担う「はだのっ子たち」へ、希望溢れる「ふるさと秦野」			

を引き継いでいきたい。

- ・令和7年1月1日には市制施行70周年を迎える。これまでの歩みを振り返り、秦野の魅力が時代の潮流に乗せて発信していくための準備を進めていきたい。
- ・令和5年度の当初予算は、これまでの5年間の取組みを足掛かりに、「輝くふるさと秦野の未来を切り開くため、積極果敢に挑む予算」として編成した。施政方針を熟読し、内容を共有した上で、第1回定例月会議、そして、新年度に臨んでほしい。
- ・議会対応に当たっては、最後まで気を緩めることなく、万全の準備で、連携を密にしながら、それぞれしっかりと説明責任を果たしてほしい。

2 報告事項

(1) 令和5年3月秦野市議会第1回定例月会議提出議案等について

[総合政策課、財政課]

【説明】資料に基づいて説明

(2) 救急医療支援システム導入による救急活動の効率化（実証実験）について

[消防管理課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見】本システムの導入により、事務の効率化等が見込まれる。デジタル化により効率化できる業務を全庁的に抽出し、優先順位をつけて予算化できるよう検討すること。

(3) 運転免許の申請取消又は行政処分により運転免許を失った高齢者の相談支援に関する協定の締結について

[地域安全課、高齢介護課]

【説明】資料に基づいて説明

(4) 秦野市パートナーシップ宣誓制度の導入について

[市民相談人権課]

【説明】資料に基づいて説明

【問】宣誓により利用できる行政サービスについて、関係各課との調整状況はどのようなか。

【答】他市で対象となっている市営住宅の申込み、市税等の証明書取得に係る委任状の省略及び災害見舞金の支給等を例に、昨年12月に全庁的に意見照会を行った。今後、関係各課との調整を行っていく。

(5) 秦野市景観形成基本計画等の改定案について

[まちづくり計画課、開発指導課]

【説明】資料に基づいて説明

(6) 土地利用委員会調整部会の審議案件について

[開発指導課]

【説明】資料に基づいて説明